



足利市議会議員

大谷やよい

いつも元気でおせっかい

あししぎ・あしあと

## ● ごあいさつ

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年から新型コロナウイルス感染症が蔓延し、外出自粛やイベントの中止が相次ぎ、人と会うことや直接会って言葉を交わす機会が減りました。徐々に元気なお姿を拝見すると、直接会える嬉しさや言葉を交わす楽しさが溢れてきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、私たちの生活に、ICTやAIが急速に入ってきました。しかし、不安を安心に変えるには、直接会うことや言葉を交わすことに勝るものはないと昨年の活動から学びました。

**人はひとりでは生きられない。支え合いや助け合いのあるまち足利市。**

今年も、市議会議員 大谷<sup>おたに やよい</sup>弥生は、みなさんにとって身近で親しみやすい存在でありながら、そして、みなさんと一緒に足利市をもっともっとよくしていきたいと思っています。これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。



## ● 令和2年 第7回市議会定例会 12月議会 11月27日(金)～12月22日(火)

12月10日(木)11時より、20回目となる一般質問を行いました。

傍聴にお越しいただいたみなさん、本当にありがとうございました。

今回は、特に、令和3年度に向けた財政運営や行政運営について、現在課題と感じている部分を正しました。

具体的な内容は、以下の通りです。

## 1、令和3年度における行財政運営について

## (1) 企業版ふるさと納税とトップセールス

・令和2年度税制改正によって、企業版ふるさと納税の拡充・延長が行われた。企業版ふるさと納税に取り組むに当たり、市長のトップセールスは欠かせないと考えるが、企業版ふるさと納税におけるトップセールスの必要性についてどのように捉えているのか。

・これまで市長が行ってきたトップセールスの効果や実績について聞きたい。

## (2) 足利市総合計画策定と実施事業評価

・足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略や足利市人口ビジョンは、地方創生や人口減少対策に焦点を当てたものであり、足利市総合計画の目指す目標と密接に関係している。足利市総合計画等の策定事務の合理化や効果的な策定を行うためにも、足利市総合計画に統合する形で足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略や足利市人口ビジョンなどを一本化できないか。

・足利市総合計画に基づいた実施計画事業について、どのように評価を行っているのか。

## (3) 一般会計からの繰出金

・第7次 足利市 行政改革大綱実施計画 では、令和元年度

実施結果から新たに公共下水道における適切な一般会計繰入金<sup>（注）</sup>の基準設定が追加された。次年度に向けた取組として、今後の一般会計繰入金所要額を明確化するとあるが、数値目標は何を根拠に定めたのか。

・水道事業は、一般会計等において負担すべき費用を除いた部分について独立採算で行うこととしている。本市における水道事業への公費負担の状況と負担すべき費用についてどのように捉えているのか。

## 2、公営企業の持続的経営の確保について

## (1) 下水道事業

・国は、下水道事業の持続的な経営の確保に向けた方針などを示し、必要なサービスを安定的に提供していくための積極的な取組を推進している。本市下水道事業は、その取組として、経営状況や資産状況を的確に把握するため、令和2年度から公営企業会計を適用し、さらに、中長期的な視点に立った経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図るため、経営戦略やストックマネジメント計画を策定中である。その内容と策定後の公表の考え方について聞きたい。

## 3、学校教育における読書環境の充実について

## (1) 電子書籍の導入

・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として整備したICT環境を有効活用する必要がある。市内市立小中学校の児童生徒には、GIGAスクール構想により学習用端末が整備されるが、今後、新型コロナウイルス感染症などによる長期休業措置や公共図書館が休館となった場合においても、子供たちの読書環境を維持できるよう電子書籍を活用できないか。

詳細は、足利市議会ホームページ「会議録検索と閲覧」よりご覧になれます。

## 傍聴にきませんか？

次回、令和3年 第1回市議会定例会(予算議会)は、2月26日(金)～3月24日(水)

一般質問は、3月10日(水)～12日(金)10時～

また、3月議会は、予算審査もあります。足利市役所3階 議場にて傍聴できます。

上記は、あくまでも予定です。詳細は、足利市議会ホームページ等でご確認ください。お待ちしております。

私の一般質問の様子がインターネットで配信されています！



スマートフォンで視聴  
左記の二次元コードを読み取ると、スマートフォンから議会議中継がご利用になれます。

# 足利市が人口減少となってしまう理由は何だと思いませんか？

答えは、

## 20歳前後の方が足利市から転出する人が多いこと 出生数が減っていること なんです。

20歳前後の方が足利市から転出しないようにするためには、例えば、足利に仕事を増やす。安定して働ける場をつくること。

では、どんなことを足利市はしているのでしょうか？



- 企業誘致、起業や創業支援、雇用対策、強い農業の育成をしています。
- 新たに働ける場をつくるために、産業団地を整備しています。さらに、企業誘致もしっかり行います。
  - ➔あがた駅南産業団地は早々に完売し、7企業が決定しました。現在は、さらに働ける場をつくるために、あがた駅北産業団地も計画しています。
- 足利を一度離れてしまった方や足利市に住みたいと願う若者の移住やU・I・Jターンにも、力を入れています。また、新規就農者数を増やします。
  - ➔JR足利駅構内に「足利市移住・定住相談センター」を開設し、移住体験ツアー、お試し居住事業などを通し、移住先に足利市を選んでいただけるようにご相談に乗っています。
  - ➔昨年の春、名草地区で農業をしたいというご家族が市外から移住してきました。

●その他にも、新型コロナウイルス感染症がまん延したことにより、新しい働き方である「テレワークの整備」もしっかりと取り組んでいます。

出生数を増やすためには、例えば、結婚の希望をかなえる。子どもを産み育てやすいまちづくりをしていくこと。

では、どんなことを足利市はしているのでしょうか？



- まずは、結婚を前向きにとらえられるようにすること。さらに、結婚の希望がかなえられるような男女が出逢う機会を増やしていくこと。
    - ➔あしかが婚活応援事業の取り組みをしている「出逢いプロデュースの会」を私もお手伝いをしています。4年間活動する中で、4組がご成婚されました。すでにお子さんを授かった方もいます。
  - 子どもを産み育てやすい街にするために
    - ➔不妊・不育症治療費助成事業、妊娠期や子育て期にわたる切れ目のない相談支援。
    - ➔ボランティアグループあしかが子育て応援ネットにも所属して、育児に悩む保護者の支援も行い「子育てするなら足利市」を目指し、保護者に寄り添った活動をしています。
- その他にも、放課後児童クラブの増設、足利市は保育所幼稚園等の待機児童0を継続し、仕事と子育てを両立できるよう支援していきます。

●最後まで重要な人口減少対策は、健康寿命を延ばすことです。平均寿命は、延びていますが、一番大切なことは、元気で過ごせる時間を長くすること。

健康寿命と平均寿命の間の時間をいかに短くするかです。現在は、その差は10年と言われています。いつまでもお元気で、そして、長生きしていただきたいと思えます。

### 市政報告会中止について

毎年2月第2日曜日に開催していた「大谷やよい市政報告会」ですが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、中止させていただくことになりました。毎年ご参加いただいていた方や楽しみにいただいていた方々には、本当に申し訳なく思っています。

